

世の中、何が起^こるか
分かつたもんじゃないな
まさかこんなことになるなんて…

オレは音無 重悟（おとなしじゅうご）
自宅警備を生業としている
彼女いらない曆イコール年齢の
どこにでもいる平凡な男だ

え?
ただの二ートじやないかって?

何言つてるんだ
家をしつかり守るのも立派な仕事だ
オレはこの仕事に誇りをもつて
労働しているんだよ!
今のご時世物騒だろ?

現にオレの家は乗つ取られそうになつたんだよ!

ちょうど1カ月前のことだ
平凡な暮らしは、その時一変したんだ
その日、ちょっとトイレに
用を足しに行つてゐるわずかな間に
見知らぬ双子の少女が
家に馴染んでいやがつた



オレは目を疑つたよ
おふくろは少女達に
自分の娘かのような態度で
親しげに接しているし
何がなんだが訳が分からなかつた

混乱してるオレをよそに
その2人少女は
いきなりわけの分からん呪文を
オレに向かつて唱え始めたんだ

ハアアアア

あなた…なんともないの?

!?

オレはきょとんとしながら

「なんのマネだ?」

と問いかけたら

2人はびっくりした顔をしていた

「いや…なんともないが…」
オレはわけが分からぬまま
困惑した顔で問い合わせた

双子の少女は焦った表情で
魔法が効かないだの
あーだのこーだの密談し始めた

密談から漏れてくる言葉を聞き取ると
口封じだの調教だの
穏やかでない言葉がでてくる……

そんなわけの分からない状況を打破すべく
双子の少女に対して強気な態度で
何者なのかを問い合わせた



2人はオレの剣幕に圧倒されたようで
何者なのかを白状し始めた

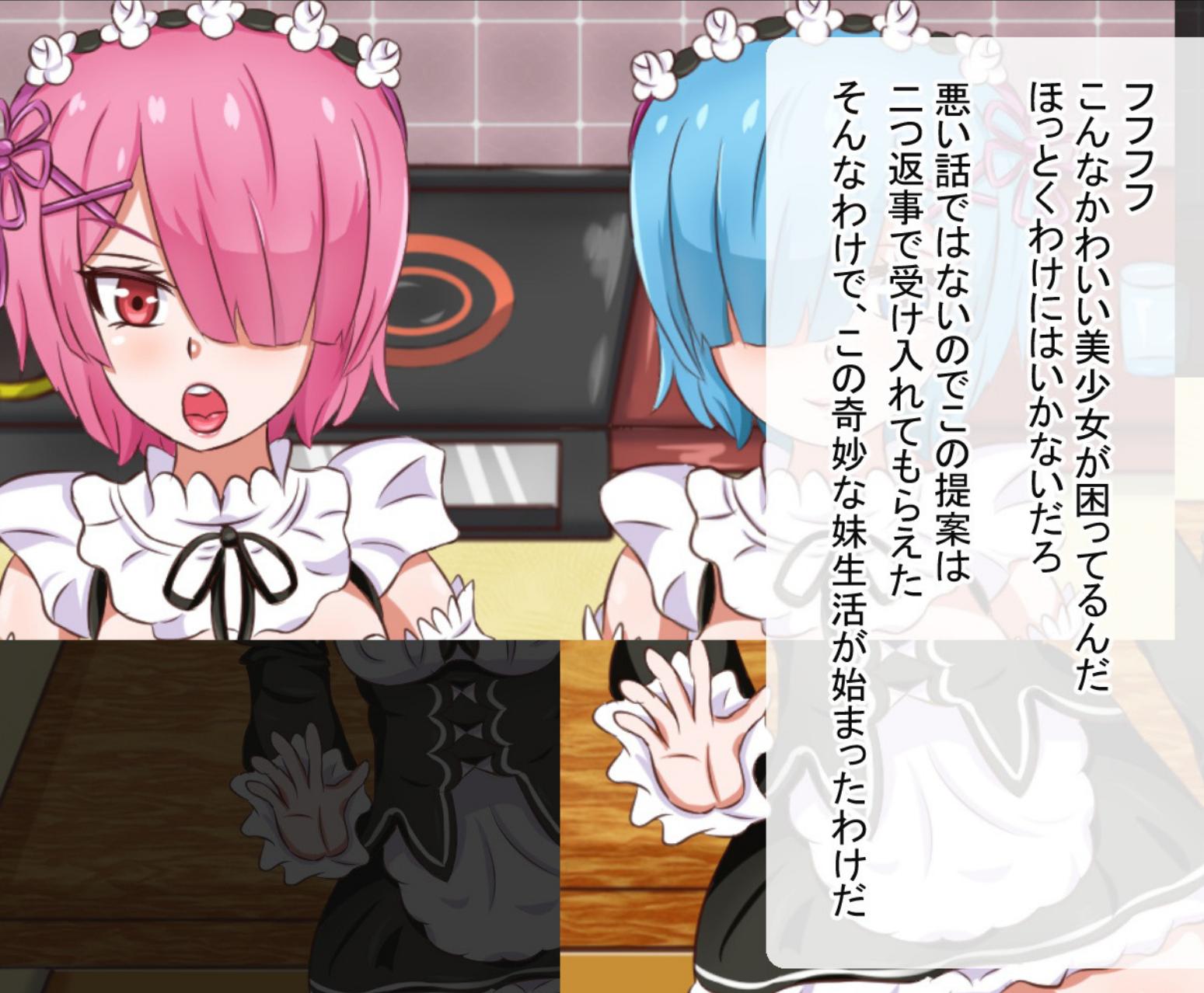
なんでも少女達の世界にある
とある洞窟を探索していたら

この世界に迷い込んでしまったようで
気づいた時には、うちの押入れにいたんだとか
で、たまたま遭遇した、おふくろを魔法で
洗脳し、この世界のことを調べる為に娘として
成り済ましていたというわけだ

幸いオレは、その魔法とやらは効かない体质で
洗脳されずに済んだということだ
なんとも信じがたいトンデモ話だが
この通りおふくろが完全に娘だと
思い込んでいるところ見ると
信じざるを得ないな……

にしても、とんでもない少女達だ……
魔法が効いてしまう体質だったら
オレも都合の良い操り人形にされていただろう





だがこの双子の少女、美少女だし
実にオレ好みだ♪
自宅警備しているオレには、こんな出会いは
一生無いかもしれん……
だから提案したんだ

元の世界に戻れるまでうちを
生活の拠点にしてもらってかまわないと
そして、この世界の情報提供もするし力も貸すと
ただしこの世界では家族として
オレの妹として振舞つてもらうという条件でな

フフフ
こんなかわいい美少女が困つてるんだ
ほつとくわけにはいかないだろ

悪い話ではないのでこの提案は
二つ返事で受け入れてもらえた
そんなわけで、この奇妙な妹生活が始まつたわけだ



オレはもう止まらないぞ♥
お前のそのいやらしい身体で
何度もオナニーしたと思ってんだ?

嫌いでも何でもかまわないさ!
言つたろ? オレは止まらないって
さあてお前の大重要な部分
揉ませてもらうぜ♥

やめて下さい!
こんなこと!
嫌いになりますよ!

こんなに大きくして
変態！ 変態！ 最低っ！



せつかくだし動画を
残しておかなきゃな♪

かわいい妹にチンポ舐められるとか
エロゲーのようなシュチュエーションで
興奮するぜっ♥

お兄ちゃん気持ちいい？♥

あー気持ちいいぜー！
姉妹パイズリ最高っー！